



医療法人梨香会

秋元病院

www.akimoto-hospital.com

秋元病院

医師募集概要

RECRUIT
INFORMATION
FOR DOCTOR

2024

〒273-0121
808-54 Hatsutomi
Kamagaya-city
Chiba-prefecture

We are a family

患者様と、家族のような信頼関係を。

患者さんのために
地域のために

仲間や家族のために
自分のために

私たち梨香会の職員は、
We are a familyの精神で
医療・福祉の分野に貢献します。



秋元病院は、精神科と内科が 一体となった病院です。

基本方針

「精神疾患・身体ならびに口腔疾患・リハビリテーション」が融合した病院が母体となり、「依存症支援」を柱に「外来（相談支援）、在宅支援、就労支援、生活支援施設」等の事業を地域で展開する。

診療科目

精神科／心療内科／内科／神経内科（曜日指定有）／整形外科（曜日指定有）／リハビリテーション科／歯科、皮膚科(入院患者のみ外来実施)

診療実績

1日平均外来患者数：約180名

1日平均入院患者数：精神250 内科65名

病床稼働率：精神89％・内科90％

救急患者：かかりつけメイン(精神、内科、月間1～2件内科中心)

主な疾患

精神科：統合失調症40％、認知症16～17％、躁うつ10％、
アルコール関連12～13％

内 科：生活習慣病、肺炎、尿路感染症等



救急指定：なし

病床種別：352床（一般病床70床・精神科病床282床）

院長インタビュー

チームで取り組む、全人的医療に強み

—— 秋元病院のご紹介をお願いします

医療法人梨香会秋元病院は1980年の開設当初から開放型の病棟を導入し、こころに障害を抱えた患者様やアルコールの依存に苦しむ患者様に対して、70床の内科病棟を併設し、こころと身体両面から患者様を支えていく医療に取り組んで参りました。更にリハビリテーション科、歯口科等も開設し全人的に患者様をお支える体制を整えて参りました。

千葉県で先駆けて始めたアルコール依存症の治療においては、30年以上の歴史があります。ギャンブル依存症の治療も行っており、依存症専門医療機関の認定を受けています。

—— 前職では長年、救急医療に尽力されていたと伺いました

前職となる千葉県救急医療センターでは、循環器内科医として県内全域の重症救急患者さまの救命に全身全霊を捧げていました。2018年には同センター病院長に就任。2021年3月に36年間勤務した同センターを定年退職後、秋元病院に病院長として赴任しました。現在は内科医として、精神疾患を持つ患者さまの身体疾患に対応しています。

実は専門と異なるため当初は当院への入職を考えていなかったのですが、実際に訪れてみたところ非常に働きがいのある病院だと感じたのです。

—— どのような点に魅力を感じられたのでしょうか

「私たち梨香会の職員は、We are a familyの精神で医療・福祉の分野に貢献します」これが当法人の掲げる理念です。私はこれまで、自分の家族と同じように患者さまに接することを大切にしており、常々「自分の親兄弟ならば、どうするだろうか？」と考えながら診療にあたってきました。

ですからこの法人理念には深く共感し、感激しました。そしてこの理念の下に集ったスタッフが、患者さまに寄り添いながら大変前向きに医療に取り組んでおり、病院全体がとても良い雰囲気に包まれていました。



加えて、精神科の病院ですので街の中心部から離れたのどかな立地にあり、院内には社会復帰のために運動ができる中庭スペースやさまざまな設備があります。救急医療センターで大がかりな設備に囲まれ患者さまの救命に尽くす環境も素晴らしいものでしたが、患者さまがお元気に歩いていて、挨拶を交わしたりちょっとした談笑ができる当院の温かな環境も魅力に感じました。

そうした中で、新たな挑戦として当院で身体疾患を伴う精神疾患の患者さまへの全人的医療へ取り組むことを決意しました。

—— 実際に赴任され、 どのようなやりがいを感じていらっしゃいますか

当院のスタッフは、看護師だけではなく放射線技師や事務も含めて、全員がとにかく前向きで主体的に医療に携わる風土です。誰もが地域のため、病院のために何ができるかを考えて、自分たちのやるべきことをやっていくという姿勢で取り組んでいます。

ですから診療においても医師の指示を待つだけではなく、スタッフ自身でも患者さまの状態を確認したりレントゲン写真を見て考え、チームで相談しながら診療を行う体制となっています。現在はこうしたチーム医療体制の中、患者さまを包括的に診療していくことに大きなやりがいを感じています。

内科と精神科間においても、お互いに協力しながら診療を行っています。近年は精神科の病院に限らず、内科の慢性期病院など高齢患者さまを受け入れる病院には認知症の方が多くいらっしゃいます。内科の先生が対応に苦慮することも多いですが、当院では内科医と精神科医の双方が主治医となりますので、内科医は身体疾患の治療に集中することができます。精神科は精神医療審査会の審査委員も務める副院長を中心に熱意を持って取り組んでおり、連携もスムーズです。

精神疾患の患者さまの多くが、身体的な合併症を抱えています。アルコール依存症ではアルコール性の肝機能障害や心筋障害を始め、消化器がんなども多い疾患です。また精神疾患を持つ患者さまは症状を訴えにくい、あるいは病気に気づきにくいという特性があります。当院ではまず内科に入院して病状を落ち着かせ、全身チェックにより隠れた疾患も治療した上で精神科につなげ、患者さまの社会復帰、自宅復帰を支援しています。



院長インタビュー

—— 内科の先生方に向けて、メッセージをお願いします

当院は精神科医療の中でも、アルコール依存症治療に長い歴史のある施設です。千葉県内にアルコール依存症専門病院は2施設のみ、さらに内科を設置しているのは当院のみです。身体疾患を伴う精神疾患の患者さまに対応できる希少な施設として、周辺地域だけでなく千葉県全域、県外も含めて広く患者さまを受け入れ、社会に貢献していくことが当院の使命です。

内科の先生の中には精神疾患の患者さまへの対応のイメージが湧かず、躊躇される方もいらっしゃるかもしれません。ですが内科と精神科でサポートし合い、経験豊富な同僚・スタッフとのチーム医療を行う当院ではそうしたご心配は不要です。精神疾患や依存症に伴う身体合併症患者さまの病棟管理のみとなりますので、業務としても穏やかで働きやすさを感じていただけるでしょう。もちろん外来や内視鏡などに積極的に取り組みたいという希望も歓迎しており、多くの活躍のチャンスがあります。

2023年秋には、より広くアルコール依存症患者さまを受け入れられるよう依存症専門病棟も開設しました。精神と身体の総合的な診療、リハビリテーションやデイケアなどを通した全人的アプローチによって今後も精神疾患、依存症の患者さまの支援に取り組んでまいります。
共に尽力いただける先生を、心よりお待ちしております。

病院長
石橋 巖



副院長インタビュー

依存症専門治療を柱に、 広く地域の精神科医療を担う

—— どのような患者さまに対応されていますか

一般的な精神科病院と同様に、統合失調症、うつ病、認知症など、さまざまな患者さんが当院を頼って来られます。介護施設や知的障がい者施設への訪問診療も行っており、地域の精神科医療の中核を担う存在として貢献しています。

特記すべきこととして、全体の約2割がアルコール依存症の患者さんです。当院は、1980年の創設以来、40年以上に渡ってアルコール依存症の治療に携わってきました。3ヶ月の入院治療プログラムがあり、精神科の治療のみならず、内科医による身体合併症の精査や治療を行うことができるのが特長です。また、外来治療では医師の診療に加えて、アルコールデイクア、自助グループ活動、就労サポートなど患者さんの生活の支援を行っています。ピアスタッフも活躍しており、患者さんに寄り添った支援を行っています。こうした活動が認められ、2019年に千葉県のアアルコールとギャンブルの依存症治療専門医療機関の認定を受けております。

—— やりがいを感じている点を教えてください

精神科医として患者さまへの全人的医療へ取り組んでいますが、当初は依存症の治療に関心があったわけではありませんでした。

入職も、前職の先輩医師が秋元病院に赴任するにあたって「ぜひ一緒に」と声をかけてもらったことがきっかけですし、横浜市立大学医学部を卒業後、神奈川県で勤務していたため地縁もありませんでした。

しかし今では、主体的で志の高いスタッフが揃い、内科との連携体制が確立された当院でのチームによる依存症治療、包括的な支援に大きなやりがいを感じています。

依存症以外の症例も豊富で、専門医を取得するにあたっての症例も1年足らずで集めることができました。



副院長インタビュー

私は横浜市立大学医学部を卒業後、神奈川県 of 病院に勤務していました。家庭の都合で千葉県に転居することとなりましたが、その際、以前神奈川で一緒に働いていた先輩医師に声をかけられたのがきっかけで当院に勤めることとなりました。勤務当初は依存症の専門治療は全く経験がなく、どちらかというと苦手意識があったくらいです。当院に勤務し8年余りが経ちますが、ようやく依存症の専門医として働けるようになったと思えるくらいに成長できたのは、患者さん自身の回復を目の当たりにしたことや、志の高いスタッフを通じて依存症という病気について学ぶことができたからです。

今では内科との連携が確立された当院での依存症治療、包括的な支援に大きなやりがいを感じています。

当院は鎌ヶ谷市内に唯一の精神科病院であり、依存症以外の患者さんも多くいらしゃいます。地域の医療に貢献している実感を持ち、やりがいを感じることができる職場だと思います。

—— チーム医療体制について、もう少し詳しくお聞かせください

当院は精神科だけではなく、内科治療や歯科治療にも力を入れています。また週1日整形外科と皮膚科の医師が勤務しております。高齢化社会に伴い身体合併症を持つ患者さんが多くなっていますし、そもそも精神科の患者さんはセルフケアが疎かになりがちで、当院を受診した際に思わぬ身体合併症が見つかることもあります。当院ではこうした身体疾患の対応を専門の医師に依頼することができるのが強みだと感じています。

その他、依存症治療については、多職種のスタッフが協力し合って患者さんを支えます。医師、看護師、薬剤師、作業療法士、理学療法士、ソーシャルワーカー、ピアスタッフなどによる様々なプログラムやサポートを用意しています。個別の相談、家族相談、勉強会の開催も活発です。

—— 院内の雰囲気や人間関係がとても良いそうですね

30~70代の幅広い年齢層の医師が在籍しており、関係性は良く働きやすいです。お互いを尊重した良好な関係を築いており、いわゆる大学病院のように先輩後輩として指導を受けるようなことはありません。現在当院に在籍している医師は何でも快く相談にのってくださるので、私は当院の先輩医師からたくさんのことを学んできました。

また、看護師、ケースワーカー、事務など、前向きで意欲的なスタッフが日々の医師業務を支えてくれるため、診療に集中でき、働きやすい環境だと思います。こうした院内の雰囲気や人間関係は、働く上で魅力に感じていただけたらと思います。

—— 反対に、貴院の課題は何でしょうか

どの医療機関も抱える悩みだと思いますが、一番の課題はマンパワー不足です。特に当院は依存症治療の専門病院ということで、一般の精神科病院よりも勤務のイメージが付きにくいのではないかと感じています。

依存症というと、酩酊状態で暴れるような印象があるかもしれませんが、基本的には自ら「依存症を治したい」という意思のある方が入院治療や外来治療の対象となります。また、治療プログラムが確立されているため、未経験でもしっかりと学んでいただくことができます。

これまで依存症治療に携わる機会のなかった先生も、きっと当院の依存症治療に働きやすさと働きがいを感じていただけるのではないかと思います。

一方で、医師の働き方についてはさまざまな選択肢があって良い時代だと思います。どうしてもアルコール依存症に抵抗のある先生におきましては、依存症以外の疾患対応のみの勤務など、お一人お一人のニーズに合わせた働き方を実現したいと考えておりますのでご相談ください。

ワークライフバランスについては、基本的には時間外勤務はなく、当直も現在充足しておりますので、オンオフが付きやすいです。現在はマンパワー不足で多忙と感ずることもありますが、今後医師体制を強化し、一人あたりの病床管理数や外来の人数を減らして、さらにきめ細やかな医療が提供できるよう整えていきたいと考えております。

—— 先生方へのメッセージをお願いします

2021年には千葉県の救急医療に多大な貢献をされてきた石橋巖先生が病院長に就任され、院内はこれまで以上に病院を良くしていきたい、盛り上げていきたいという活気に溢れています。

行政や周辺の施設からも、当院の前向きな姿勢に対して評価のお声を頂戴することが増えており、きっとやりがいを感じていただけるのではないかと思います。当院を更に盛り上げていくため、先生のお力を貸してください。何卒よろしく願いいたします。



募集要項

あなたのスキルを活かしませんか？ 働きやすい環境を大切にしています！

精神保健指定医をお持ちの方,お持ちでない方も病院を一緒に盛り上げてくださる方をお待ちしております！

外来数、病棟の受け持ち数、オンコール対応免除等に関しては調整致しますので、まずはご相談ください！！

精神科医師募集

募集科目：精神科

募集人数：2名

年 齢：不問

望ましい人物像：精神保健指定医をお持ちの方、なしでも勤務可能

勤務開始：随時可能

募集背景：2024年3月末で現週4日常勤が非常勤週1日に
非常勤医師が退職になるため

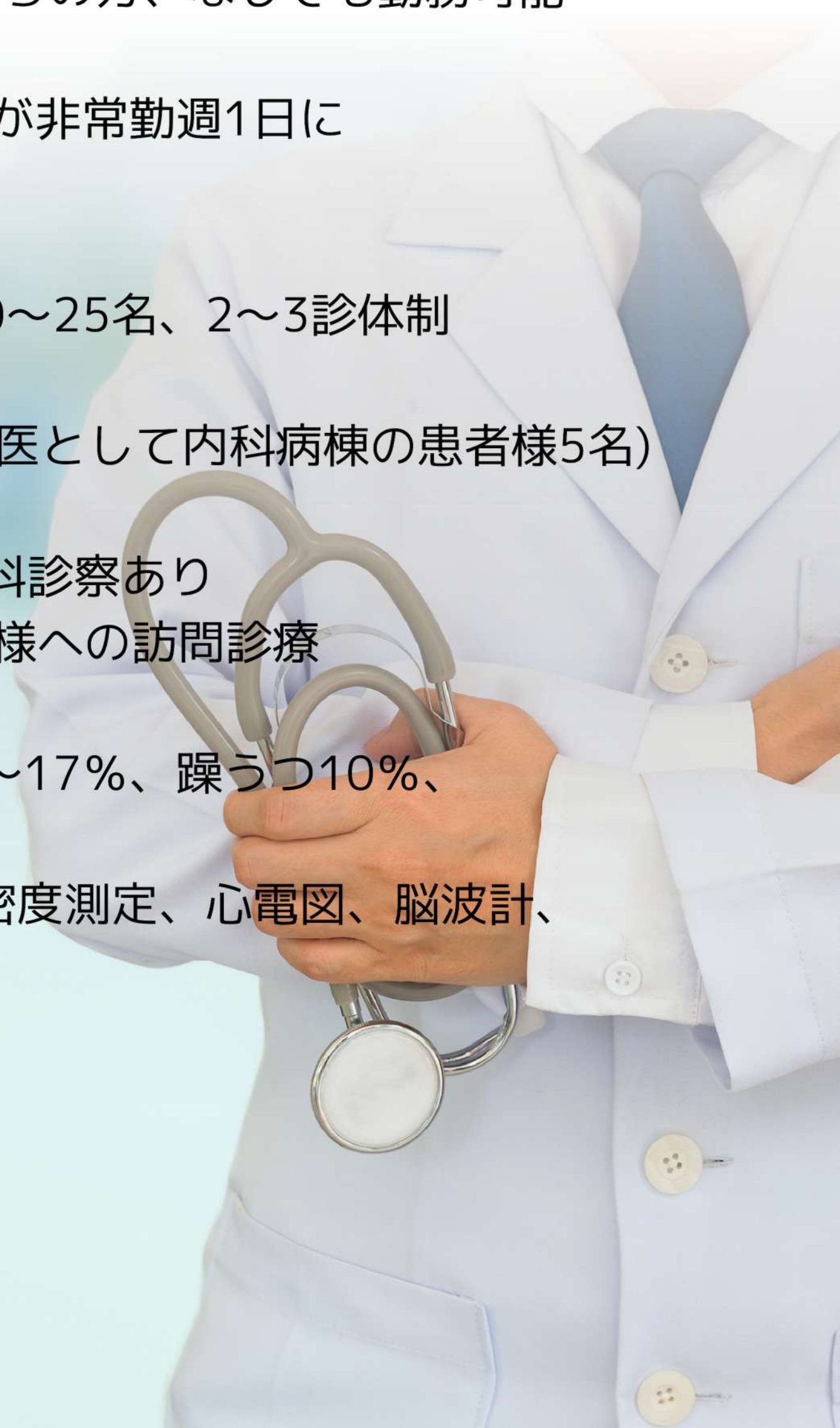
必須条件：精神保健指定医をお持ちの方

勤務内容：外来診療2～3コマ、1コマ20～25名、2～3診体制
病棟管理 50名程度
(精神科主治医45名・副主治医として内科病棟の患者様5名)

※週1回非常勤医師による内科診察あり
施設(特養等)への認知症患者様への訪問診療

主な疾患：統合失調症40%、認知症16～17%、躁うつ10%、
アルコール関連12～13%

可能な検査：CT、一般撮影、透視、骨密度測定、心電図、脳波計、
超音波診断装置、内視鏡



一般内科医師募集

募集科目：一般内科

募集人数：1名

年齢：不問

勤務開始：随時可能

募集背景：体制強化のため

必須条件：金曜日のご勤務

勤務内容：病棟管理 30名程度

可能であれば外来診療、特養への往診、ワクチン接種

主な疾患：生活習慣病、肺炎、尿路感染症等

可能な検査：CT、一般撮影、透視、骨密度測定、心電図、脳波計、
超音波診断装置、内視鏡

福利厚生・支援制度(全科共通)

契約期間：入職日～年度末まで ※試用期間：3ヶ月間

定年制度：なし

退職金：なし

休暇：有給休暇（入職半年後に10日付与）

夏季休暇(3日)年末年始休暇（5日）

昇給制度：有り ※但し、法人の財務状況・実績による

各種保険：雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金

学会補助：年2回迄（規定による）

赴任手当：なし

住宅補助：なし

時間外手当：1万円/時

通勤手当：公共交通機関の場合は定期代(月5万円上限)

ガソリン代(院内規定で距離数に応じて)・高速代要相談

育児支援：育休制度あり

その他：宿日直許可取得済み

時間外勤務1万円/時、固定残業30時間含む

給与〆支払日：当月末日締め、翌月25日払い

受動喫煙対策：敷地内禁煙

募集要項

条件面の詳細

勤務日数：週4日～5日

勤務時間：月～土：08:30～17:00

※時短勤務相談可能(入り上がり30分程度)

※土曜休み可能

休憩時間：60分

当直回数：基本なし、勤務希望があれば要調整

当直体制：平日：2人当直

(精神科医、内科医／看護管理士のサポートあり)

土日：2人当直

(精神科医、内科医／看護管理士のサポートあり)

早番遅番：内科に限り早番と遅番週1回ずつ対応あり

早番7時・遅番18時～19時状況によって変動、1時間1万円支給

基本給与：精神科

(週4日) 1800万円/年

(週5日) 2200万円/年

(外来2～3コマ、1コマ20～30名、病棟管理 50名程度)

先生のご希望に沿えられるように業務内容・業務量を調整致します！

例えば・・・

●診療数抑え目

(外来2～3コマ、1コマ15～20名、病棟管理40名程度)

※アルコール症例対応無し

(外来2～3コマ、1コマ20～25名、病棟管理 50名程度,AL症例対応無し)

●往診業務中心

(往診2～4コマ、外来0～2コマ、1コマ20～25名、病棟管理20名程度)

数値はあくまでも目安です。

業務内容・業務量により給与(1500～1800万円/年)も相談させて下さい。

※土曜勤務の場合は手当あり(1万円/日)

内科

(週4日) 1600万円 ※ご経験・実績に応じて要相談

(週5日) 要相談

当直手当：別途支給(当直：平日4万円、日当直土曜～月曜：15万円)

オンコール出動：なし

地域について



鎌ヶ谷市は、都心からわずか25Km圏という場所に位置しながら、多くの自然に囲まれた街です。緑豊かな公園をはじめ、特産物である梨畑も多く、自然と調和した落ち着いた街並みが広がっています。

商業も自然もコンパクトに充実

商業施設や医療、保育、銀行、ホテル、市役所、市民ホール、図書館などの施設が集約しており、生活に必要な施設に困ることはありません。

イ家族で楽しめるベントも盛んです。プロ野球球団である北海道日本ハムファイターズのファーム球場としてファイターズ鎌ヶ谷スタジアムがあり、毎年臨場感あふれる試合と楽しいイベントが多数開催され、多くの人で賑わっています。



子育てがしやすい

鎌ヶ谷市は、笑顔で赤ちゃんを温かく迎えられるように、保健師・助産師・栄養士・歯科衛生士・保育士・子育て支援コーディネーターなどがきめ細かくサポートする街です。初めてママ・パパになる方には「Welcome Baby School」を開催。出産後には、助産師や保健推進員がご自宅に訪問したりママの体調、母乳やミルクの相談をしたり、きめ細かい対応をしています。

「保育園」と「放課後児童クラブ」の待機児童ゼロ継続中！

乳幼児の待機児童0はもちろん、小学生にあがっても子どもたちのサポートを街をあげて応援しています。



概要・アクセス

施設概要

- 名称**：医療法人梨香会 秋元病院
住所：〒273-0121 千葉県鎌ヶ谷市初富808-54
開設：昭和55年8月15日
理事長：秋元 伸夫（50代前半）
病院長：石橋 巖（循環器内科／千葉大学／67歳）
救急指定：なし
病床種別：352床（一般病床70床・精神科病床282床）
診療科目：精神科／心療内科／内科／神経内科（曜日指定有）／
整形外科（曜日指定有）／リハビリテーション科／
歯科、皮膚科(入院患者のみ外来実施)
アクセス：車通勤可能（駐車場無料利用あり）
新鎌ヶ谷駅より職員送迎バスあり、片道10分程度(朝3本、夕方4本)
カルテ：紙カルテ、オーダリングシステム導入済み
施設HP：<http://www.akimoto-hospital.com/>

医師体制

■医師常勤6名

- ・内科2名(60代以上2名)
- ・精神科4名
(40代2名・50代1名・60代以上1名)
- ・非常勤13名
内科8名・精神科5名大学派遣なし

■スタッフ

- | | |
|---------|-----------|
| 看護師125名 | 放射線技師2名 |
| 理学療法士4名 | 臨床検査技師3名 |
| 作業療法士8名 | 精神保健福祉士7名 |
| 薬剤師4名 | |



沿革

- 1977年：東京神経科クリニック（現・北松戸メディカルクリニック）開設
- 1980年：秋元病院創立
- 1981年：アルコール専門病棟（現・ライフ病棟）を独立
- 1986年：日本初の家族病棟（現・ファミリー病棟）竣工、スタート
- 1987年：医療法人梨香会として組織変更
アルコール患者OB会 豊友会結成
- 1988年：歯科併設、診療開始 訪問看護部門設置
- 1992年：鎌ヶ谷、北松戸に訪問介護ステーション設置認可、活動開始
- 1995年：東船橋にて、秋元クリニック開設 アルコールデイケア開始
- 1997年：秋元病院および秋元クリニックにて精神科デイケア開始
北松戸メディカルクリニック（前・東京神経科クリニック）新設
精神科デイケアも開始
一般科外来および内科病棟開設（70床）
- 2000年：鎌ヶ谷に、居宅介護支援事業所を新設
訪問介護施設「ヘルバーステーション鎌ヶ谷」開設
- 2001年：PT（理学療法）開始
北松戸に、居宅介護支援事業所を新設
訪問介護施設「ヘルバーステーション北松戸」開設
大規模デイケア施設（デイケア棟）を新設
- 2002年：OT（精神科作業療法）開始
- 2007年：就労継続支援B型事業所「あきもとふぁーまーず」開設

アクセス



- 初富駅／新鎌ヶ谷駅から、車で約10分
- ※初富駅（大正堂薬局前）・新鎌ヶ谷駅・鎌ヶ谷駅各駅（東口ロータリー）より当院の送迎バスをご利用いただけます。（日・祝日は運休）

www.akimoto-hospital.com



医療法人梨香会

秋元病院

採用に関するお問い合わせ

株式会社Rakusai

添島(ソエジマ)

MOBILE: 070-1387-5461

E-mail: soejima@rakusai-corp.jp